

平成23年 7月吉日

お産後のお母様に調査へのご協力をお願い

ご出産おめでとうございます。

出産後1ヶ月経ちましたが、育児等に夢中で過ごされ、お疲れさまでした。

この度、お産後のお母様方から、妊娠・出産・育児に関して保健医療サービスや医療従事者への思いを明らかにし、お母様方が望む満足な出産や育児ができるようなお手伝いに役立てる事を目的として、厚生労働省の研究費を受けて、これからの妊娠出産ケアに関する調査を行っております。

お忙しいことと存じますが是非とも調査にご協力をお願い致します。なお、この調査にご協力頂かなくてもお母様に何ら不利益はございません。途中いつでも自由に参加を取り止めることができます。その場合も、お母様に何ら不利益はございません。

お手間をおかけいたしますが、ご自宅等で育児の合間にご記入頂き、同封の封筒に入れて、封をして、1週間以内にご返送下さいますようお願い致します。

なお、この調査票には整理番号が付いていますが、全て無記名で統計処理し、ご協力頂く方々の個人名、個人情報特定されませんし、一切外部に公表されることはございません。また、施設内の資料、研究報告書および学会発表に使用する他は、回答内容が目的以外に使用されないことをお約束致します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 厚生労働科学研究 分担研究者 島田三恵子宛
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Tel/Fax 06-6879-2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

妊娠してから出産、産後の間、あなたご自身が受けた保健医療ケアや医療従事者と接した中で、あなたの感じたことや記憶していることについて、以下の質問にお答え下さい。必要な時には、母子健康手帳を参考になさして下さい。

回答は、当てはまる番号に○を付け、□□に数字を、()に文字をお書き下さい。特にお断りしていない限り、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

I あなたご自身のことについておたずねします。

1. 現在、あなたは何歳ですか。 □□歳
2. 今回あなたが出産した場所は () 都・道・府・県
3. あなたの身長は何センチメートルですか □□□cm
4. あなたの妊娠直前の体重は □□.□Kg、出産直前の体重は □□.□Kg
5. あなたはお仕事をもっていますか。
仕事をもっている（自営業を含む）。
 - 1) 産後休暇6週間を待たずに、働く予定（または既に働いている）。
 - 2) 産後休暇中であるが、産後職場復帰する予定。
 - 3) 育児休業をとってから、職場復帰する予定。仕事をもっていない。
 - 4) 妊娠・出産を契機に退職し、しばらく就職するつもりはない。
 - 5) 就職を希望しているが、失業中である。
 - 6) 妊娠前から専業主婦である。
 - 7) その他
6. 今回の入院は、お産当日を入れて何日間でしたか。 □□日間
7. 退院後、どこで過ごしましたか。
 - 1) 自宅
 - 2) 自分の実家
 - 3) 夫の実家
 - 4) その他 ()

II 以下の欄は母子健康手帳を参考にご記入下さい。

8. 今回のお産は、何回目のお産ですか。
 - 1) 初めて、
 - 2) □回目
9. 妊娠何週で産まれましたか。 □□週
10. 赤ちゃんは何グラムでしたか。 □□□□g,
双子以上の場合
□□□□g, □□□□g, □□□□g,

24. お産の時、その医療者にもっとそばにいて欲しかったですか。

- 1) はい
- 2) 痛みが強くなった時など必要な時だけ、いて欲しかった。
- 3) 充分そばにいてくれて、安心できた。
- 4) その人には、いて欲しくなかった。他の医療者にもっといて欲しかった。
- 5) 医療者ではなく、家族にそばにいて欲しかった。
- 6) 誰もそばにいて欲しくなかった。

25. 今回のお産の時、医療者以外の人で、陣痛室であなたのそばにいた人は誰でしたか。

- 1) 夫・パートナー (複数回答可)
- 2) 親 (実父母・義父母)
- 3) 姉妹 (あなたの姉妹)
- 4) 友人・知人
- 5) 子ども (赤ちゃんの兄弟姉妹)
- 6) その他 (誰ですか)
- 7) 誰もいなかった。
- 8) 医療者側の都合・方針で誰も入れなかった。

26. お産で入院してからお産が終わるまでの間に、分娩監視装置 (胎児の心音と陣痛を測る産科医療機器) を何回くらいつけましたか。

- 1) 分娩監視装置を1度もつけなかった。機械で胎児心音だけ聞いた。
- 2) 入院した時に、1回だけつけた。
- 3) 入院した時1回、子宮口が全部開く前に1回、分娩室へ入室後1回の合計3回つけた。
- 4) 入院した時1回、その後は時々または半日毎に1回程度、分娩室へ入室後はずっとつけた。
- 5) トイレは食事以外の時は、ほとんどつけたままだった。
- 6) その他 (入院してから、合計 回つけた。)

27. 分娩監視装置がなぜ必要なのか説明があり、納得できましたか。

- 1) 説明があつて納得した
- 2) 説明があつたが納得できなかった
- 3) 説明なし

28. お産の時、医師または助産師などの医療者は、あなたに次の事を行いましたか。

- 1) あなたの意志や希望を尊重し、あなたがして欲しいと思った事をきいてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 2) 浣腸 1, はい 2, いいえ
- 3) あおむけ以外の姿勢をすすめた。 1, はい 2, いいえ
- 4) 陰部の毛を少しそったり切ったりした。 1, はい 2, いいえ
- 5) マッサージや暖かいパックを腰に当てるなどして痛みをやわらげてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 6) あなたの気持ちを理解し、安心させてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 7) お産の時、点滴をしていた。 1, はい 2, いいえ
- 8) 会陰切開 (出口をはさみで切ること) 1, はい 2, いいえ
- 9) 息を止めて、長くいきむように指導された。
1, いいえ 2, はい ⇒ 「はい」とお答えの方、それはいつからですか
1, いきみたくなる前 2, いきみたくなってから
- 10) お産の後すぐ、あなたが希望するような形で赤ちゃんとの対面ができた。 1, はい 2, いいえ

29. お産の時、医師または助産師などの医療者は分娩の経過や状況を
わかりやすく説明してくれましたか。
- 1) 説明があり理解できた 2) 説明があつたがよく理解できなかった 3) 説明なし
30. 赤ちゃんが生まれる時、医療者以外の人で、立会った人は誰でしたか。(複数回答可)
- 1) 夫・パートナー
2) 親(実父母・義母)
3) 姉妹(あなたの姉妹)
4) 友人・知人
5) 子ども(赤ちゃんの兄弟姉妹)
6) その他(誰ですか)
7) 誰もいなかった。 ⇒ 誰も立ち会えなかった理由は何ですか。
(1) あなたが希望しなかった。
(2) その人が希望しなかった。
(3) その人が多忙だった。
(4) 医療側の方針で、そばにいられなかった。
(5) 理由はわからない。
(6) その他()
31. あなたの赤ちゃんを、実際に取り上げた人は誰ですか。
- 1) 産科医
2) 助産師(医師は立ち会わず)
3) 産科医が立ち会って、助産師がとりあげた。
4) 助産師が立ち会って、助産学生がとりあげた。
5) その他(誰ですか)
6) わからない
32. お産の時、あなたは以下のどのような状態でしたか。
- 1) お産の始めから終わりまで、あなたが
自由に動いて姿勢を変えることができた。 1, はい 2, いいえ
2) 赤ちゃんが出る時、あなたはあおむけでしたか。
1, はい 2, いいえ
「いいえ」とお答えの方、どんな格好でしたか()
3) プライバシーは配慮されていましたか。 1, はい 2, いいえ
33. お産の時、自分が十分尊重されたと感じましたか。
- 1) はい 2) いいえ

V 産後や育児のことについておたずねします。

- | | 満足 | やや満足 | 中間 | やや不満足 | 不満足 |
|-------------------------------|---------------|------|----|-------|-----|
| 34. 産後の医療サービスは満足でしたか。 | 1) | 2) | 3) | 4) | 5) |
| 35. お産の後、赤ちゃんをすぐに抱くことができましたか。 | | | | | |
| 1) 分娩後1時間以内に抱いた。 | | | | | |
| 2) 2時間以内 | (次の頁に続きがあります) | | | | |

- 3) 分娩後、歩けるようになってから
 4) お産の翌日から
 5) その他 (いつ頃)
36. お産の後、赤ちゃんにすぐにお乳を吸わせることができましたか。
 1) 分娩後1時間以内にお乳を吸わせた。
 2) 2時間以内
 3) 分娩後、歩けるようになってから
 4) お産の翌日から
 5) その他 (いつ頃)
37. 入院中、赤ちゃんに、さ湯、糖水、ミルクが与えられていましたか。
 1) 母乳だけで、他は何も与えられなかった。
 2) さ湯が与えられていた。
 3) 糖水が与えられていた。
 4) ミルクが与えられていた。
 5) わからない。
38. 入院中、いつから赤ちゃんと同じ部屋で、一緒に過ごしましたか。
 1) 分娩直後から離れず、ずっと一緒に過ごした。
 2) 分娩後、歩けるようになってから、ずっと一緒に過ごした。
 3) 産後 () 日目から、退院までずっと同じ部屋で過ごした。
 4) 昼は一緒に過ごし、退院まで夜は新生児室に預けた。
 5) 授乳の時以外は、退院まで別々の部屋で過ごした (母子異室)。
 6) 赤ちゃんがNICUまたは他院に入院した。
 7) その他 ()
39. あなたは妊娠中、分娩、産後を同じ医師に診てもらいましたか。
 1) はい 2) いいえ
40. あなたの妊娠中から分娩、産後のケアを同じ助産師が行いましたか。
 1) はい 2) いいえ
41. もう一度お産をするとしたら、ここでお産をしたいですか。
 1) はい 2) いいえ 3) どちらともいえない
42. お産後のこの1ヶ月間、毎日のように育児や家事を手伝ってくれた人は主に誰ですか。
 1) 夫・パートナー
 2) 親 (実父母・義父母)
 3) 姉妹
 4) 誰もいなかった、自分でやった
 5) その他 ()
43. 生後1ヶ月の時点で、赤ちゃんの栄養は次のどれですか。
 1) 母乳のみ
 2) 主に母乳の方が多いが混合栄養
 3) 母乳は吸わせているが、ミルクの方が多い混合栄養
 4) ミルクのみ
 5) どちらかわからない

4 4. 退院後の1ヶ月間、育児などのことで困ったことはありましたか。(複数回答可)

お母さん自身のこと

- 1) 睡眠不足で身体が疲れていた。
- 2) 社会から取り残された感じがして、孤独感やあせりを感じた。
- 3) 育児にかかり切りで忙しく、投げ出したくなることもある。
- 4) 赤ちゃんの育て方に自信がなかった。
- 5) お乳のトラブル(しこり・痛みなど)
- 6) 会陰の痛み
- 7) 出血や悪露
- 8) 尿もれ
- 9) その他()

赤ちゃんのこと

- 10) 眠ってくれない。
- 11) 泣いてばかりいる(夜泣きも含む)。
- 12) 母乳が足りているのかどうか心配。
- 13) ミルクをどのくらい飲ませたら良いのかわからない。
- 14) おう吐
- 15) 便のこと(便秘・下痢)
- 16) 皮膚のこと(湿疹、おへそのこと、黄疸)
- 17) 体重のこと
- 18) 実際の育児のしかたがこれでよいのかどうか確認したい。
- 19) その他()

育児環境について

- 20) 夫や家族の理解や協力が得られなかった。
- 21) 相談できる場所、専門の人がなかった。
- 22) 仕事との両立が難しい。
- 23) 保育園に預けたいが入園できるかわからない。
- 24) その他()

4 5. 子育てをする時、以下のどのようなサービスがあれば、楽しく育児ができますか。

あなたにとって、次の 1)~26)までのうち、最も重要なものに 5つまで Oをつけて 下さい。(5つ複数回答可)

産後の情報提供

- 1) 産後、退院してから母子共に入院できる助産院リスト
- 2) 電話相談や育児相談の電話番号リスト
- 3) 夜もみてくれる小児科医のリスト
- 4) 母子健康手帳に、電話相談の番号、助産院、小児科医の情報も載せる。

育児相談

- 5) 24時間電話できる育児相談
- 6) お産をした病院・医院・助産院での育児相談
- 7) 産後、必要な時に何回でも相談に応じてもらえる家庭訪問
- 8) じっくり相談にのってもらえる乳児健診
- 9) 保育所、幼稚園、児童館での育児相談

育児サポート

- 10) 産後の赤ちゃんや母親の世話をする産褥ヘルパー
- 11) 家事を手伝ってくれるヘルパーを派遣する制度
- 12) 必要に応じて乳房マッサージもやってくれる家庭訪問

保育所

- 13) 働いていなくても利用できる赤ちゃんの一時預かり保育
- 14) 乳児保育、延長保育、病児保育などの保育サービス
- 15) 駅の近くの保育所
- 16) 職場内の保育所

育児休業、労働時間など

- 17) 育児休業を気がねなくとれる代替りの人の配置
- 18) 育児休業中のある程度の給料の保証
- 19) 育児休業後、もとの職場や希望する部署への配置
- 20) 育児休業後の研修や職場情報の提供
- 21) 夫婦でともに育児できるような父親の育児休業
- 22) 育児中の親にあわせた働き方（短時間勤務、在宅勤務など）
- 23) 職場に近い社宅や公営住宅への子育て世代の優先的入居制度

行政サービス

- 24) こども手当て、保育料の軽減などの経済的支援
- 25) 親の就労時間を考えた乳幼児健診の時間・方法
- 26) 公費負担の予防接種を受ける場所・時間を柔軟にすること

46. 退院後の1ヶ月間、育児に困った時、相談にのってもらった人は誰ですか。(複数回答可)

- 1) 医師
- 2) 助産師
- 3) 看護師
- 4) 保健師
- 5) 看護師・助産師・保健師の区別はつかないが、看護・助産に携わる人
- 6) 夫・パートナー
- 7) 親(実父母・義父母)
- 8) 姉妹
- 9) 友人・知人
- 10) 相談したくても誰もいなかった
- 11) 特に困ったことがなかった。
- 12) その他()

47. 退院後の1ヶ月間、医療者(医師、助産師、看護師、保健師)に相談して、あなたの悩みや育児の心配事は解決しましたか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 返って心配になった
- 4) わからない
- 5) 相談しなかった

48. その結果(相談した結果)について、満足しましたか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) どちらともいえない

49. 今回の妊娠からお産までに受けた医療サービスは、全体的にみて満足できましたか。

- 1) 満足できた 2) 満足できなかった 3) どちらともいえない

VII これからの育児のことについておたずねします

50. 産後2ヶ月、産後3ヶ月の間、どのようなサービスがあれば楽しく育児ができますか。次の1)~16)までのうち、あなたにとって重要なものに○をつけて下さい。(複数回答可)

情報提供

- 1) 夜もみてくれる小児科医のリスト
- 2) ベビーシッターを紹介してくれる所
- 3) 地域の児童委員、民生委員
- 4) 出産した病院からの育児などの情報提供や働きかけ
(例えば、赤ちゃんとの生活や、上の子どもの対応に関する助言など)

育児相談

- 5) 24時間電話できる育児相談
- 6) 母乳育児の相談と乳房手当を兼ねた母乳外来
- 7) 自由に参加できる病院・医院・助産院での育児相談

育児サポート

- 8) お産をした病院・医院・助産院からの電話訪問
- 9) 産後1ヶ月後も、必要な時に何回でも相談に応じてもらえる家庭訪問
- 10) 自由に参加できる病院・医院・助産院での育児サークル
- 11) 父親どうしの交流ができる場
- 12) インターネットによる育児相談

保育所

- 13) 働いていなくても利用できる赤ちゃんの一時預かり保育
- 14) 産休または育児休暇明けの母親の乳児優先の入園制度

育児休業、労働時間など

- 15) 夫婦で育児できるような父親の育児休業
- 16) 夫が育児参加できるような父親の働き方(短時間勤務、在宅勤務など)

VIII 産後の気分についておたずねします。

51. 過去30日間にどのくらいの頻度で次のことがありましたか。あてはまる欄の数字に○をつけて下さい。

	全くない	少しだけ	時々	たいてい	いつも
1. 神経過敏に感じましたか	0	1	2	3	4
2. 絶望的だと感じましたか	0	1	2	3	4
3. そわそわしたり、落ち着かなく感じましたか	0	1	2	3	4
4. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	0	1	2	3	4
5. 何をすることも骨折りだと感じましたか	0	1	2	3	4
6. 自分は価値のない人間だと感じましたか	0	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。

